

日本海員組合第十三回年度大會決議

第一號議案 船内労働時間制定ニ關スル件（可決）

説明者 横濱支部 關口 幸三

主文

吾等ハ經濟上並人道^上船内一日八時間労働制ノ確立ヲ期ス

理由

一般労働者ニ對スル八時間労働制ニ關スル條約案ハ、既ニ第一回國際労働總會ニ於テ採擇セラレタル所ナルモ、海上ニ於ケル労働ハ、ソノ過激ノ度ニ於テ、將又ソノ危險ノ度ニ於テ到底陸上ノ労働トハ、同日ノ論ニアザルニモ不拘未ダ國際的ニモ國內的ニモ同制度ガ採擇實施セラレザルコトハ重大ナル社會的矛盾ト言ハザルヲ得ナイ。實ニ八時間労働^制コソハ一切ノ労働條件ノ基本的要求デア^ル。今日海上ニハ最低賃銀制ノ確立ヲ見テハキルガ、八時間労働制ノ確立決定ナクンハ本制度ハ本質的ニ搾取ノ強化ヲ意味ス

ルト共ニ乘組定員問題ノ解決ヲ曖昧ニ付セントスル逆效果ヲ齎^ラス、

實ニ吾々ハ海上労働生活ノ基本的要求トシテ船内一日八時間労働制ノ實現ヲ期スルモデア^ル。

實行方法

一、海事協同會ノ協議事項トシ

二、各船内ノ實情ニ照應シテ實際問題トシテ是ヲ獲得スルコト

第二號議案 年二回昇給制度確立ニ關スル件（可決）

説明者 東京支部 地主 俊夫

主文

吾等ハ労働賃銀ヲ海員生活線ノ上昇ニ適應セシムルタメ年二回定期昇給制度ノ確立並ニ實施ヲ要求ス

理由

海運ノ健全ナル發展ヲ期スルタメニハ、海運ノ原動力タル海員ノ